

1年B組 音楽科学習指導案

- 1 題材名 情景を想像しながら音楽を味わって聴こう
教材名 鑑賞「春—第1楽章—「和声と創意の試み」第1集「四季」から」
(ヴィヴァルディ作曲)

2 題材について

《新学習指導要領とのかかわり》

B 鑑賞 (1)ア(ア)曲や演奏に対する評価とその根拠
イ(ア)曲想と音楽の構造との関わり

[共通事項]

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えること。

(1)題材観

現代社会では、生活の中に音楽が溢れ、生涯にわたって音楽を楽しんで聴いたり、演奏したりしている人が多い。しかし、その音楽の「よさ」を人に伝えるとなると、表面的に音楽を聴いているため、深く音楽を聴いてよさを感じ取ることや、自分なりの言葉で思いを人に伝えることができないことが課題である。自分の思いや考えを人に伝えることが苦手なために、人間関係が希薄になりがちなこと課題と言える。

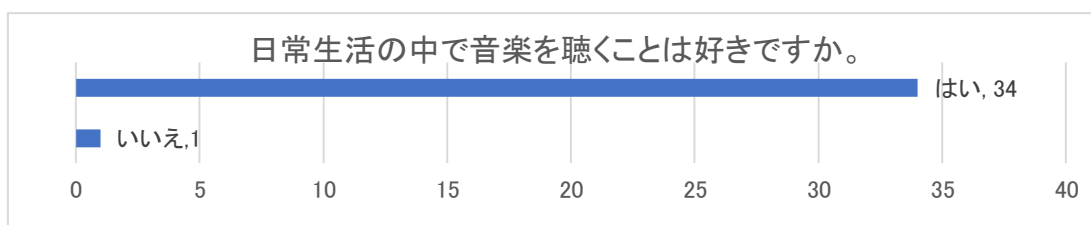
そこで、音楽活動を通して、自分の思いや考えを相手に伝え、相手の思いや考えを理解することのできる力をつけさせたい。そして、聴く力を育てるために、ただ聴くだけでなく、どのように自分が感じ取りイメージを膨らませているか、音楽を形づくっている要素と関わらせて考えさせていきたい。

新学習指導要領において、「第1学年の鑑賞活動では、[共通事項]との関連を図りながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう能力を育てていく」ことが指導のねらいである。本題材において音楽を聴いて感じ取った情景や様子のイメージと、音楽を形づくっている要素と関わらせる活動を通して、このねらいに迫ることができる。そして、学習指導要領のB鑑賞の内容(1)ア(ア)「曲や演奏に対する評価とその根拠」、イ(ア)「曲想と音楽の構造との関わり」に関する学習から、「自分なりに考える」ことのできる力をつけさせたい。

市教研の研究主題は「生涯にわたって音楽を楽しむことができる児童・生徒の育成～9年間を見通した音楽科の学習指導～」である。小学校の鑑賞では、「曲の演奏やよさなどを見だす」学習を行ってきている。そこで、中学校で初めての鑑賞の学習では、小学校の学習を更に発展させ、音楽を形づくっている要素を感じ取ると同時に、それらの内面に生まれる様々なイメージや感情と関わらせながら聴く力を身につけてさせていきたい。そして、根拠をもって自分の言葉で説明できるようにし、互いの音楽感を高め、より深く音楽のよさや美しさを味わう力をつけていけると考え、本題材を設定した。

(2) 生徒の実態

本題材を設定するにあたり、以下のようなアンケートをとった。

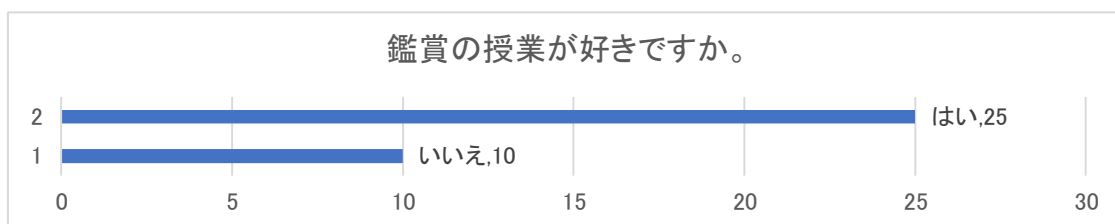


「はい」と答えた理由

- ・気分がよくなるから。 ・音楽を聴くと元気が出るから。 リラックスできるから。
- ・覚えて一緒に歌うのが好きだから。 ・気分転換になるから。
- ・いろいろなアーティストがいるから。

「いいえ」と答えた理由

- ・聴いてもよく分からないから。

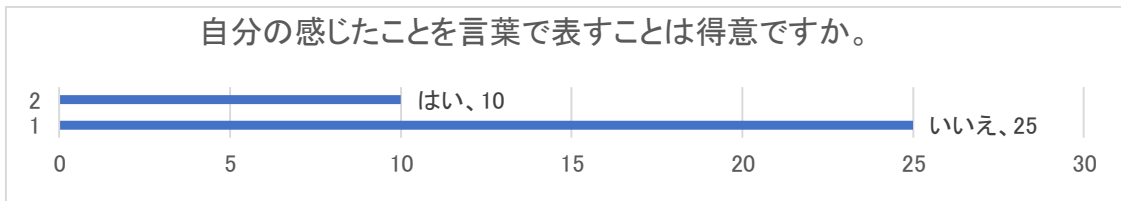


「はい」と答えた理由

- ・その曲のことが分かるように聴いているから。 ・いろいろな音楽に出会えるから。
- ・どのように演奏しているかを見るとわくわくするから。
- ・作品によって楽しく引き込まれるから。

「いいえ」と答えた理由

- ・楽しくないから。 ・終わった後のプリントをどう書けばいいか分からないから。
- ・歌詞がないし歌えないから。 ・考えて書くのが苦手だから。

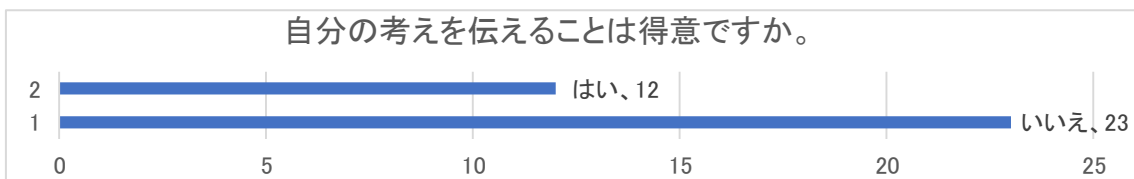


「はい」と答えた理由

- ・相手に自分の思いを聞かせたいから。
- ・言葉にするとどんな曲かよく分かるから。
- ・作文や国語が得意だから。
- ・自分のことを話そうと思うと自然とでてくる。

「いいえ」と答えた理由

- ・表現の仕方が難しいから。
- ・言葉が思いつかないから。
- ・上手にまとめるのが難しいから。
- ・パッと浮かぶけれどそれをまとめられない。
- ・言っているのかわからない時があるから。
- ・間違えたら恥ずかしいから。
- ・「楽しくなる」とか、薄っぺらな言葉しか出てこないから。
- ・どんな言葉を使ったらみんなに伝わるのか分からないから。

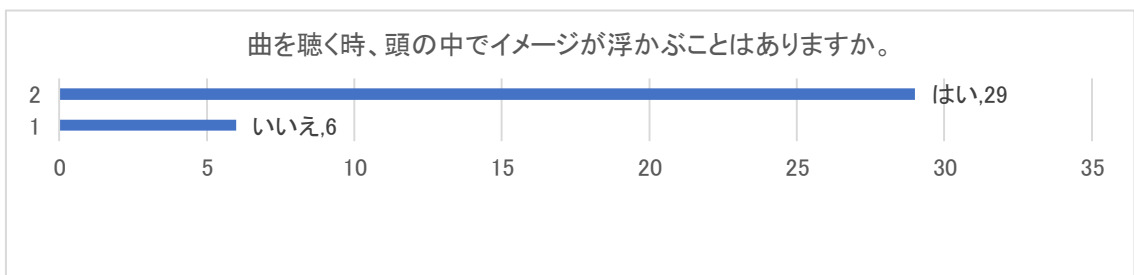


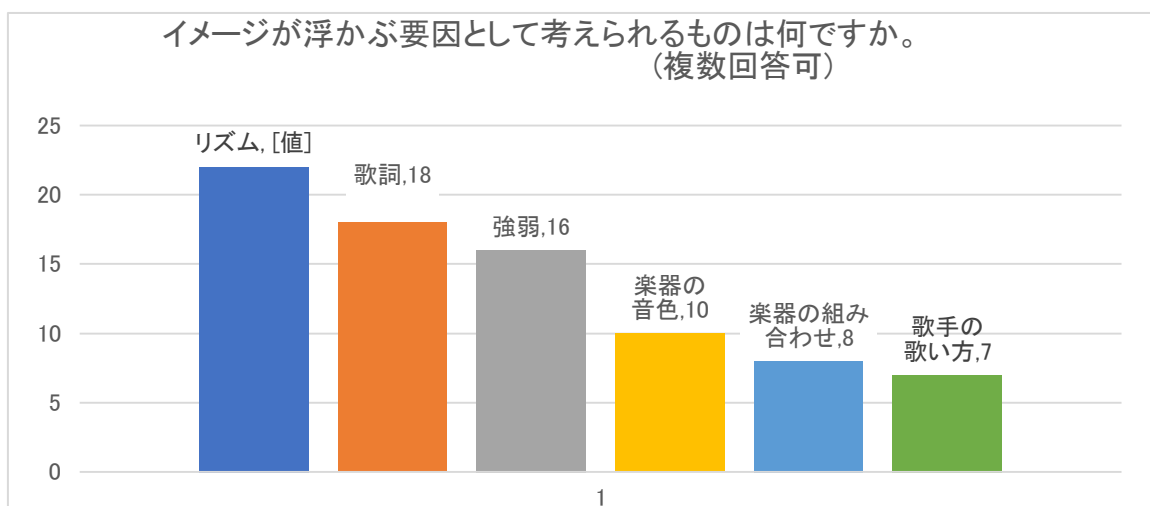
「はい」と答えた理由

- ・みんなに知ってほしいから。
- ・相手に自分の思いを聞かせたいから。
- ・自分の意見を出さないとついていけないから。
- ・相手にわかってもらいたいから。
- ・共感する人がいるともっとやろうと思えるから。

「いいえ」と答えた理由

- ・はっきりと口に出せないから。
- ・恥ずかしいから。
- ・意見を持っていても言葉としてまとめるのが苦手。
- ・短くまとめられないから。
- ・周りとは逆のことを思っていたら嫌だから。
- ・あまりしゃべりたくないから。
- ・間違ったことを言ったらどうしようと思うから。
- ・班の中なら平気だが、全体となると自信がなくなる。





〈考察〉

アンケート結果から、ほとんどの生徒が日常的に音楽を聴くことが好きであることが分かる。鑑賞の好きな生徒が全体の7割以上を占めている反面、どのように書けばいいのか分からず、曲を聴くことは好きだが鑑賞の授業は好きでない生徒もいる。また、自分の感じたことを言葉で表すことに苦手意識を持つ生徒が多く、表現の仕方や、伝え方、言葉のまとめ方に不安を抱えていることが分かる。しかし、全体の82%の生徒は、曲を聴いて頭の中でイメージをすることができるかと答えている。以上の実態から、本題材を取り上げ、音楽を形づくっている要素と関わらせていくながら、生徒が苦手と感じている伝える力をつけさせたい。

(3) 指導観

ヴィヴァルディ作曲の「春」は、ヴァイオリン協奏曲という絶対音楽に分類されるが、ソネットと呼ばれる14行からなる詩が添えられていることから、標題音楽の要素も含んでいる。標題音楽とは、音楽以外の想念や心象風景を喚起させることを意図して、情景やイメージ、気分や雰囲気といったものを描写した器楽曲である。

情景を明確にする標題音楽なので、音楽を聴いて生徒たちが場面をイメージしやすいと考えた。またこの曲は、「春」というタイトルから、共通した情景の色やあたたかさを感じ取ることができ、対話的な活動の中で情景を視覚的に共有しやすく、音楽を形づくっている要素とも結びつきやすいと考えたため、この曲を取り上げた。

そこで、音楽の醸し出す情景がどのような音楽の要素から生み出されるかを聴き取り、考えさせることで、本題材に迫らせたい。

そして、この学習をきっかけにして、常に音楽を形づくっている要素と関わらせて音楽を聴くことを意識できるようにしていきたい。そうすることで、より音楽を深く聴くことができ、その音楽のよさを根拠をもって説明できるようになると思われる。

3 題材の目標

音楽から情景を想像し、その理由を言葉で説明することでその音楽のよさを味わう。

4 題材の評価規準及び学習活動の具体的評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・音楽を形づくっているリズム，強弱，音色，旋律と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくっているリズム，強弱，音色，旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②音楽を形づくっているリズム，強弱，音色，旋律や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

5 研究の視点について

【視点2】主体的・対話的で深い学びの視点からの工夫

○ワークシートの工夫（本時の学習活動5・6）

生徒の思考や話し合いの過程を可視化し、音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを考えやすくさせるため、「思考ツール（同心円チャートのアレンジ）」を用いた。

「思考ツール」を活用することで、順を追って考えさせることができ、自分が感受したことが音楽を形づくっているどの要素や仕組みからくるのかを結び付けやすく、知覚したことへとつなげることができる。また、思考したことを整理しながら鑑賞することで、「主体的な学び」に迫ることができる。考える。

「思考ツール」を使うと、図形によって考え方の流れを一見して理解することができる。自分の考えを、長い文ではなく単語や短いフレーズで書き出せばよいので、他の考えと組み合わせたり言い換えたりすることにも対応しやすい。「思考ツール」を用いたワークシートで話し合い活動をスムーズにし、対話の中で考え方を深める手立てとしたい。

○ペア活動による話し合い（本時の学習活動6）

根拠をもって批評する方法として、中学1年の鑑賞の授業のスタートである本時では、隣の友人に自分の考えを伝える方法を取り入れる。二人のやりとりをすることで、考え方の違いを比較しやすい。また、互いに気づいたこと、感じたこと等について伝え合いやすく、自分なりの言葉で批評できるように整理しやすいと考える。

音楽的な特徴を共有したり共感したりする活動をすることで、「対話的な学び」の実現につなげたい。

6 題材の指導計画及び評価計画

次	時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
1	1 (本時)	<p>ねらい 音楽を聴いて情景を想像する。</p> <p>○ミュージックコラムを聴き、弦楽器について触れる。</p> <p>・演奏している写真を見て、使われている楽器を知る。</p> <p>○曲名、作曲者、ソネットを知る。</p> <p>・Aのソネットを知り、Aについて情景を想像する。</p> <p>・音楽を言葉で説明するために、音楽を形づくっている要素を挙げながら、言葉で表現する。</p> <p>○Bについて情景を想像する。</p> <p>・Bについて、ソネットの内容は伝えず、どのような情景か想像し、プリントの思考ツールに記入する。</p> <p>・音楽を形づくっている要素を用いて、情景を想像する根拠となるものをプリントの思考ツールに記入する。</p> <p>○言葉で伝えることで自分の考えを整理する。</p> <p>・隣の人や後ろの人に、自分の考えを伝える。</p> <p>・全体で数名が発表する。</p> <p>○楽曲を鑑賞し、感じ方の違いを味わう。</p>	<p>・音楽を形づくっているリズム、強弱、音色、旋律と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(音楽への関心・意欲・態度)</p>
	2	<p>○作曲家ヴィヴァルディについて知る。</p> <p>・前回鑑賞したBを聴き、自分の情景と考えを思い出す。</p> <p>・作曲者について知り、ヴィヴァルディが表現したかったソネットBを知る。</p> <p>○ヴィヴァルディが音楽にしたソネットについて知る。</p> <p>・C D Eを鑑賞し、それぞれどのソネットになるか考える。</p> <p>・感じ取った情景を想像し、音楽を形づくっている要素と関わらせながらプリントに記入する。</p> <p>○ソネットを踏まえて楽曲を鑑賞し、情景の変化を感じ取る。</p>	<p>・音楽を形づくっているリズム、強弱、音色、旋律や構造を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽を形づくっているリズム、強弱、音色、旋律や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑賞の能力)</p>

7 本時の学習(1/2)

(1)本時の目標

○曲想を感じ取り、自分なりに評価しながら音楽のよさや美しさを味わって聴く。

(2)展開

時配	学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準(評価方法)
10分	1 帯学習「ミュージックコラム」より、「無伴奏チェロ組曲第1番プレリュード」を鑑賞し、弦楽器について触れる。	○演奏されているチェロという楽器から、他の弦楽器を考えさせる。 ○「春」を演奏している写真を見せ、どのような楽器があるか質問する。 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・チェンバロ・テオルボ
	2 ヴィヴァルディ作曲の「春」という曲だということを知る。 ・ 楽曲の冒頭部分を鑑賞する。	○今日鑑賞する曲の冒頭部分を流し、聴いたことがあるか質問する。 (予想される生徒の反応) ・ 小学校の時に掃除で使われていた曲 ・ 小学校の卒業式で流れていた曲 ・ テレビのCMで聴いたことがある。
10分	3 本時の目標を知る。	○本時の目標を確認する。
	音楽を聴いて浮かんだ情景を言葉で伝えよう。	
	4 A が「春がやってきた。」というソネットだということを知り、全体でどのような情景が浮かぶか考える。 ・ 全体で A を聴き、どのような情景が浮かぶか意見を出し合う。	○この曲は①「春」という曲であり、②ヴィヴァルディによって作曲され、③ソネットという詩がついており、ソネットにより曲が5つに分かれていることを伝える。 【発問】 A は「春がやってきた」というソネットですが、どのような感じがしますか。 (予想される生徒の反応) ・ わくわくする感じ ・ スキップしている感じ ・ 踊っている感じ ・ 掃除しか思い浮かばない ・ 結婚式のような感じ

	<ul style="list-style-type: none"> なぜそのように感じるのか、音楽を形づくっている要素を用いて説明するための言葉を全体で考える。 <p>12分</p> <p>5 Bを聴いて個人で情景を想像し、考えを言葉で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 思考ツールの真ん中の欄に「春」と書く。 Bのソネットを伝えず、どのような情景が浮かぶか考え、思考ツール(ア)欄に記入する。 音楽を形づくっている要素を用いて、情景を想像する根拠となるものをプリントの思考ツール(イ)欄に記入する。 	<p>【発問】どのようなところからそう感じますか。</p> <p>○音楽を形づくっている要素について説明する。【強弱・旋律・音色・リズム】のカードを黒板に貼り、どのような伝え方があるか教える。</p> <p>【強弱】強い・弱い 【旋律】なめらか・なみなみ・音が跳ぶ 【音色】ヴァイオリンの音 チェロの音 【リズム】細かい・はぎれよい・長い</p> <p>○説明の仕方を教える。 「私は○○(情景)な感じがしました。なぜなら、○○(根拠)だからです。」</p> <p>○黒板に説明の仕方のテンプレートを出して1人の意見を用いながら、説明の仕方を教える。</p> <p>○「春」と書かせることで、掃除や卒業式のイメージをなくし、「春」の中で情景を想像させる。</p> <p>【発問】Bのソネットは何を表しているのでしょうか。</p> <p>○どのような情景が浮かぶか、考えさせる。想像ができない生徒には、Aの「春がやってきた」の続きを考えさせる。</p> <p>○「楽しい感じ」等のイメージではなく、頭の中でどのような映像が出てくるかを考えるよう留意させる。</p> <p>◆音楽を形づくっているリズム、強弱、音色、旋律と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 (音楽への関心・意欲・態度) 《観察・ワークシート》</p>
--	--	---

10分	<p>6 隣の人に言葉で説明し、自分の考えを整理するとともに、自分とは違った考えに触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右側の人から左側の人へ1分間で情景とその根拠を伝える。 ・ 左側の人から右側の人へ同様に行く。 ・ 複数人が発表し、どのような情景や根拠があがったか、全体で共有する。 	<p>○Aの時の伝え方を確認し、隣同士で考えを伝え合う。</p> <p>○それぞれが発表し終わったらBの部分を流し共有させる。</p> <p>○複数人に発表させ、同じ音楽を聴いているのに、それぞれの情景や、それを根拠とした要素は違うことを理解させる。</p>
8分	<p>7 最後に再び「春」を通して聴き、感じ方の違いを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの意見を聴き、人によってさまざまな感じ方があることを知る。 ・ ヴィヴァルディはどのようなソネットからこの音楽をつくったのか考える。 ・ プリントに感想を書く。 	<p>○周りの意見を聴き、自分が浮かんだ情景や周りの情景を踏まえて聴くよう助言する。</p> <p>○ヴィヴァルディはどのようなソネットから情景を浮かべて音楽にしたのだろう、と投げかけ、次回に答えを発表することを伝える。</p>

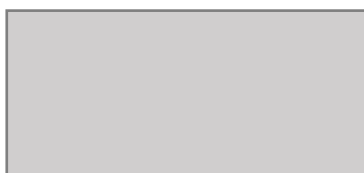
鑑賞プリント①

1年()組()番 氏名()

曲名【 】 作曲者【 】

(イ)

(ア)



感想・わかったこと

.....

.....

.....

.....